

CONCIERGE

by Mochimaru shokuhin Co.,Ltd. 24/Sep/2013/vol.264



宇宙いも エアーポテト（巨大ムカゴ）

Air Potato 【学名:Dioscorea bulbifera】

直径は 10 センチ以上、一見何の植物かわからない姿形をしています。これはヤマノイモ科の自然薯の仲間、地中の芋よりもムカゴの方が巨大化する種類だそうです。原産地は熱帯アジアやフィリピンといわれていて、ツルの先に大きな実がなっているように育つため、英名では「Air Potato」とも言われています。日本でよくみられるムカゴは、本当に小さい球形のムカゴなので、これを見るだけでは誰もムカゴだとは思わないでしょう。そして「宇宙いも」というネーミングも、土の中ではなく空中でツルにぶら下がるようにして成るので命名されたそうです。しかし外見のゴツイイメージとは裏腹に、調理をすると食感はホクホクとして、滑らかで、きめ細やかな口当たりが特徴です。生食はおすすめいたしません。長芋と同じように搗ってほかの食材と混ぜ合わせ、焼いたり揚げたりとフワフワな食感も楽しめ、その上、香りや味わいに癖はほとんどありません。薄い皮を剥いた直後はきれいな薄緑色ですが栄養価が非常に豊富で特にポリフェノールが多く、それはカットした後に空気に触れると色が褐変することで確認できます。食物繊維やカリウムも豊富で消化も良い……宇宙にも持っていきたいほどの内容を備えた芋であることは確かです。見た目は非常に面白い形、大きくなるとリボンのように見えるものもあります。初めて出会うと少々びっくりしてしまうような風貌の大きなムカゴ、しかし案外繊細な肉質と素直な風味に、外見では判断できない面白さを感じてしまいます。今年は試験的な栽培で、極めて少量しかありませんが、来年以後生産を増していくようです。